

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

9月号／2008年9月1日発行

3 つ の 目 的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

●日時
8月19日(火)
P.M. 4:30~

8月通常例会

●場所
アクアマリンふくしま
小名浜美食ホテル内「舷」

講演会 演題 『アクアマリンふくしまの軌跡』 アクアマリンふくしま館長 安部義孝氏



8月19日(火)午後5時40分から、アクアマリンふくしま会議室において8月通常例会が開催されました。

今回は経営品質向上グループが担当し、毎年の来場者数が110%以上という「アクアマリンふくしま」の集客・ビジネス戦略を学ぼうというもの。

まず例会に先立ち、アクアマリンふくしま館長の安部義孝氏の案内で、約1時間の館内学習。

正式名称「ふくしま海洋科学館」よりも、愛称の「アクアマリンふくしま」がすっかり有名になり、最近では、「生きた化石シーラカンスの撮影に成功！」のニュースや多彩なイベントを次々と企画し私達に話題を提供しています。潮目の大水槽、群れをなすマイワシさんまの泳ぐ様子は、何度見ても魅了されます。海だけでなく渓流、河川、河口、干潟と生態系全般の海洋博物館と再認識しました。

見学のあと安部氏より、「アクアマリンふくしまの軌跡」という演題でご講演を賜りました。

講演に続いて行われた例会は、里見潤代表幹事から「8月の例会にもかかわらず、多くの出席をいただき本当にありがたい」との言葉がでたほどの盛況でした。

例会終了後は、小名浜美食ホテル「舷」にて食事会が行われました。



左から小沼郁亘さん(8/10生)、里見代表幹事、高崎鉄也さん(8/9生)

[講演内容]

次世代水族館 アクアマリンふくしま

アクアマリンふくしまは、2007年7月15日に、「次世代水族館」と銘打って、小名浜港第2埠頭にその姿をあらわしました。



◎ 海を通して地球と人との未来を考える

アクアマリンふくしまのキャッチフレーズは、「海を通して地球と人との未来を考える」です。隣接した小名浜魚市場の壮大な建物は、水産いわきの過去の隆盛を物語ります。

水族館内では、黒潮分流と親潮の出会い「潮目の海」をテーマに、水辺の自然を再現しています。イワシとカツオ、マグロが泳ぐ黒潮の大水槽、サケやアザラシの泳ぐ親潮の大水槽では、食う食われるの海洋の食物連鎖の現実を垣間見ることができます。

また展望室からは、小名浜の工場群を見ることができ、経済成長・有限なエネルギー・環境問題の相反する問題の克服を考える場ともなります。

こうした恵まれた立地条件の水族館は他にありません。

◎ 2つの長期計画を柱に

一方、他の地方の水族館に埋没しないために、2つの長期計画を柱に、様々な企画展示を連ねてきました。

I 問題解決

- ①立地特性:集客圏の人口密度が低いため、当施設は地域のウォーターフロント再開発として建設され、地域経済の起爆剤として期待されました。
- ②建築特性:ガラスのデザイン建築は優れたランドマークとなっています。
- ③展示特性:「ショーが無い水族館」はむしろプラスといえます。利用者の関心がショータイムにそれないので。また3階の海洋文化、科学、水産、環境展示は、「海洋科学館」としての展示の大きな特徴となっています。
- ④事業特性:生涯学習の場としての機能を果たすために、教員を配置した学習交流課を設けています。広範な利用料金免除基準により、学校教育による利用は全額無料となっています。開館時から組織しているボランティアは、特筆すべき点です。

II 職員提案による企画展示

常設展示を補完するために、職員の提案による違った切り口の企画展示を展開しています。

1. 海洋文化系企画展示(2001年から2006年まで9例)
2. 環境芸術系企画展示(2000年から2008年予定分まで11例)

III 友好館提携による技術交流・職員交流

職員の資質向上、技術交流のために、国内外の特色ある5園館との提携を実現しました。

IV 長期計画①

・体験機能の拡充

当初から不足していた、子どもの体験機能は、子ども体験館(仮称)計画として2005年の構想検討以来、基本設計、実施設計を経て現実のものになりつつあります。これは「蛇の目ビーチ」とリンクするものです。

・トムソーやプロジェクトの推進

「BioBioかっぱの里」造成(2004.6/30)し、一連の企画展示を行いました。2007年4月には、「かっぱの里」外縁に世界でも類例のない広さの屋外タッチプール「蛇の目ビーチ」が完成しました。子どもたちが、小さな命を体験し、「自然への扉」を開いてくれることを願っています。

V 長期計画②:シーラカンス学術調査

開館と同時に、施設のシナリオを一層強調するために、シーラカンス学術調査を長期計画として位置づけました。

- ・アフリカシーラカンス保全プログラムとの提携
- ・インドネシアシーラカンス保全プログラムの確立
- ・第二回シーラカンス国際シンポジウムの開催



館内見学

8月グループ会報告

人材育成研究グループ会

■日 時 8月27日(水曜日)18:30~

■場 所 正月荘

■内 容 1. 同友会活動報告

- 1)同友会活動報告 ①8月度例会/委員会活動
- 2)9月度第1G会主催例会について

2. 今後のグループ会活動について

- 1)次回以降のグループ会活動について
- ・具体的人材育成の手法について議論する。

3. 情報交換会(懇親会)

- ①Y G性格検査とC U B I C(個人特性分析)についてマルトさんの事例を
- 日ごろの活動では話さない説明(根津次長)して頂く。

②内容について質疑

- 応答を実施。参加企業の状況や事例を報告。

4. 内定者フォローについて

- 1)内定者の就業までの参加企業の対応について報告した。



務められた方々に感謝いたしております。今後勉強会と企業訪問などを実施し、良い経営者、良い会社を作るべく頑張っていきましょうとご挨拶を頂きました。

つづいて、寺主副代表幹事に乾杯のご発声を頂きました。ご挨拶の中で、磐城平藩主で老中職も務めた「安藤信正公」のお話を交えながら、いま企業経営は、非常に厳しい状況下にあり、この時期を一所懸命努力すれば会社の新しい歴史は、創られていくのでわないか、頑張りましょうと、ご挨拶を頂きました。所用で途中合流された、山口副代表幹事を交え会員10名で遅くまで懇親を深めた、納涼例会でした。



人材交流グループ会

■日 時 8月20日(水曜日) 18:30~

■場 所 イタリアンカフェ

ローレン&リーフ (ラトブ 3F)

■内 容 「いわきフランパク」経済効果について、いわきフランパクの里見喜生氏 田村要一氏を講師に迎えて、以下のような話を聞いた。

・別府温泉を活性化した「オンパク」を例に取り、いわきフランパクは、実施計画された。

・別府温泉の「オンパク」は周知されるのに、7年間かかった。(まず自分の住んでいる町を歩き回り、何か面白い店、ちょっと変わった趣味などを持っている人を探した)

・参加者目線:自分の回りにある物は当たり前で、その価値に気がつかない。

・よそ者目線:回りにある物を客観的に見ることができ、その価値に気がつく。

・新しくイベントに参加してくれる人の方が、斬新的な企画を出してくれる。

・「いわきフランパク」の効果については、今後3年間は市内の方々をターゲットとし認知してもらい、湯本温泉だけでなく、いわき全体の輪を広げ 情報・商品・技術などを提供し、盛り上げていきたい。



経営戦略グループ会

■日 時 8月28日(木曜日) 19:00~

■場 所 いわき建設会館

■内 容 会員企業である、湯本温泉 ホテル美里(遠山英克会員)様において、納涼例会を開催いたしました。ホテル美里様におかれましては、夏休み中の繁忙期にも関わらずご対応いただき感謝いたします。

高崎グループ長より事業計画に基づき外部講師をお招きし、都合4回の勉強会を開催した。財務、経営、資金制度など非常にわかりやすくご説明をいただき、講師を

■日 時 8月22日(火曜日) 18:30~

■場 所 報徳苑

■内 容 福島大学経済経営学 西川和明教授を講師として地域資源を活用した新産業の創出と題して講義を受けました。西川教授は遠野産業振興協同組合がブランド化にとりくんでいる自然薯の販売戦略づくりにかかわ

ド化にとりこんでいる自然薯の販売戦略づくりにかかわってこられました。地域をめぐる問題点を経済面と社会面から説明し島根県雲南市の卵かけごはん用しょうゆの例を紹介しました。

地域ビジネスを活発にする4つの要素として「月光クラブ、拠点、コーディネーター、パートナー」をあげコンセルトとして6つの条件をあげました。

1. メンバーが漠然とした価値観、問題意識を有していること。

2. メンバーの間に信頼関係が存在すること。

3. 少人数であること。最大4～5人まで

4. まとまった時間を一定期間継続すること。
(トータル50時間以上)

5. 隔離された場で議論すること。

(外から電話や中断が入らない)

6. コンセプトが具体化した後自分で手を汚す(役割を分担する)原を決めていること。



新入会員紹介

皆さん宜しくお願いします！



おか もと まさ ひろ
岡本雅弘
(株)みずほ銀行
いわき支店長
業種／銀行業
生年月日／昭和37年2月15日
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字三丁目25



か とう まさ ひろ
加藤雅博
(株)ニノテック
いわき営業所所長
業種／情報・通信・制御・計装
生年月日／昭和33年9月30日
会社所在地 〒970-1151
いわき市好間町下好間字鬼越18



しま ざき かず ひろ
島崎和弘
東京海上日動火災保険(株)
いわき南支社長
業種／損害保険業
生年月日／昭和34年7月14日
会社所在地 〒971-8182
いわき市泉町滝尻字菅俣6-1

9月グループ会ご案内

- 人材育成研究グループ会／9月17日(水) PM6:30～ 報徳苑 入社受け入れ体制について、各社事例報告、その他
- 経営品質向上グループ会／9月29日(月) PM6:30～ 報徳苑 「経営品質を高める考え方」について
- 経営戦略グループ会／9月25日(木) PM6:30～ 建設会館 採用、雇用に関する件
- 人材交流グループ会／9月26日(金) PM6:30～ 建設開館3F 小名浜まちづくり市民会議様をお招きし意見交換会
- ビジネスマodel研究会／9月17日(水) PM6:30～ 報徳苑常磐沖の潮目の魚のブランド化について

会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。

9月通常例会のご案内

テーマ 「アルパインの環境経営(環境対策と経営効率の両立)」

講演者 アルパイン株式会社 品質技術部 十文字俊彰氏

内容 1) 電子機器業界が抱える環境問題について
・国際的な環境規制の動向
・サプライチェーンにおける課題
2) アルパインの環境経営戦略について
・中期計画とマネジメント体制
・製品の環境保全取り組み
・事業所の環境保全の取り組み
・社員への教育、啓発
3) 質疑応答

9月10日(火)

P.M.6:30～ 食事
P.M.7:00～ 例会
P.M.7:15～ 講演会

○会場

いわき建設会館
5F会議室

○会費/1,500円

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます
●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 里見 潤

編集 情報委員会 清水雅昭

委員 広報担当 岩尾英子・高萩和義・中田博道・山崎勇喜 HP担当 坂本和久・阿部晴康

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp